

## 一般会計1兆9156億円

# 令和6年度予算案の概要

令和6年第1回市会定例会(1月30日~3月26日)が始まり、新年度当初予算案の審査が始まりました。市民生活に密着した一般会計予算案は1兆9156億円、令和5年度の1兆9022億円から134億円の増額が計上されています。今号では一般会計予算規模等の概要をお伝えし、次号から議会における議論の様子をご報告してまいります。

### 《歳入》主な内訳

市税収入:8818億円(前年比190億円増/構成比46%) 県税交付金:1200億円(前年比70億円減/構成比6%)  
国・県支出金:4900億円(前年比230億円減/構成比26%) 市債:1070億円(前年比80億円減/構成比6%)  
その他の収入:2540億円(前年比150億円増/構成比13%)

### 《歳出》主な内訳

人件費:3870億円(前年比190億円増/構成比20%) 扶助費:6000億円(前年比250億円増/構成比31%)  
交債費:1740億円(前年比40億円減/構成比9%)

※以上の人件費(職員給与)、扶助費(福祉・医療・子育てなど)、公債費(市債の返済経費)は義務的経費として合計が1兆1610億円となり、歳出の60%を占めています。(財政の硬直化)。

行政運営費:3550億円(前年比200億円減/構成比19%) 施設等整備費:1980億円(前年比5億円減/構成比10%)  
6年度の予算編成は、340億円の収支不足から行われたことで、以下のような取組を進め、その解消を目指しています。

●市税・県税交付金・地方交付税の見込み直し(約220億円) ●創造・転換等による財源創出の取組(約150億円)等

### 主要事業の予算案

#### ●子育て世代への支援

子育て応援サイト・アプリ事業:5億5500万円 子育て支援サービスを利用しやすくするための環境(サイト・アプリ)を構築。電子母子手帳の発行や一時預かりWEB予約システム等との連携。

出産費用助成事業:20億5600万円 国における出産育児一時金に上乗せして上限9万円を支給。

私立幼稚園等預かり保育事業:53億5600万円 障害児等個別に支援が必要な児童を受け入れた際の補助の創設。

不登校児童生徒支援事業:7億900万円 校内ハートフル事業を新たに25校で実施(計80校)。ハートフルフレンド家庭訪問の実施。

#### ●コミュニティ・生活環境づくり

発達障害者支援体制整備事業:1億3300万円 各ライフステージに対応した支援体制の整備。

特別養護老人ホーム整備等事業:48億6700万円 建設費補助の拡充および耐震化整備費補助。介護医療院の整備費補助の創設。

#### ●生産年齢人口の流入による経済活性化

中小企業融資事業:739億2000万円 融資枠総計1400億円。脱炭素よこはま資金、スタートアップ応援資金の創設および信用保証料助成の拡充。

商店街の活性化:4億6100万円 商店街に対する基礎的な支援に2億円プラス地方創生臨時交付金を活用した物価高騰支援。

旧上瀬谷通信施設関連事業費:280億500万円 公園、周辺道路の整備、交差点改良、新たな交通の整備に係る調査・設計等。

#### ●まちの魅力・ブランド力向上

関内・関外地区活性化推進・整備事業:11億800万円 旧市庁舎街区と横浜公園を接続する歩行者デッキの整備、横浜文化体育館周辺の道路再整備事業等。

#### ●都市の持続可能性

ゼロカーボンヨコハマの実現に向けた取組:80億7700万円 水素等次世代エネルギーの利活用推進、再生可能エネルギー導入・拡大推進、SDGs未来都市推進プロジェクトの推進等。

災害に強い都市づくり:36億500万円 河川整備(護岸整備等)、急傾斜地崩壊対策事業、地域防災力向上事業等。